

江の川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ 中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進 ～

令和3年3月策定

- 江の川水系は、上流域に位置する三次盆地において、江の川本川、支川馬洗川、西城川のほぼ同規模の3川が合流する形態を成しているため、合流後の江の川本川の水位が急激に上昇する特徴を有しています。
- 平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨による洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、江の川上流域においては洪水時の水位を下げる河道掘削や浸水害を軽減する雨水貯留施設の整備、江の川中・下流域においては、中山間地域の集落ごとに具体的な計画を策定し治水対策を加速化させるとともに、河川整備とまちづくりが一体となった『江の川中・下流域マスタープラン（仮称）』を策定し、将来世代まで住み続けられる地域を目指します。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間の江の川や馬洗川においては、馬洗川等の堤防が決壊し流域で甚大な被害が発生した、戦後最大の昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、宅地嵩上げ等、河道掘削
- ・県区間河川改修
(八戸川、玉川、大谷川、西城川、国兼川、本村川、馬洗川等)
- ・波積ダム建設事業
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・利水ダム等9ダムによる事前放流等の実施
(国交省、島根県、広島県、中国電力(株)、土地改良区等)
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討 等

■被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用規制（災害危険区域等）
- ・居住誘導（立地適正化計画等）
- ・家屋移転（防災集団移転含む） 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・国、県、市町、民間など多機関が連携したタイムラインの活用
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・洪水時の河川情報の充実（水位・映像等）
- ・被害発生時の情報収集・情報伝達の迅速化（水防団等による） 等



森林整備・保全

治山施設の整備

庄原ダム
事前放流

土地利用規制等地元説明会
(R2.12 三次市島敷・願万地区)

- ・排水路の整備
- ・雨水貯留施設の整備
- ・公園等施設整備に合わせた雨水流出抑制検討
- ・市民と連携した浸水対策
- ・排水ポンプ増強

・土地利用に関するルールづくり

森林整備・保全

治山施設の整備

みさとちよう
美郷町

高暮ダム
事前放流

沓ヶ原ダム
事前放流

しょうばらし
庄原市

灰塚ダム
事前放流

かわもとまち
川本町

災害危険
区域指定

波積ダム

災害危険
区域指定

ごうつし
江津市

おおなんちよう
邑南町

江の川中・下流域マスタープラン(仮称)

島根県

広島県

あきたかたし
安芸高田市

板木ダム
事前放流等

目谷ダム
事前放流等

八戸ダム
事前放流

土師ダム
事前放流

- 貯留容量：2～3万m3程度(※2箇所合計)
- 完成時期：令和4年度予定



雨水貯留施設の整備イメージ(三次市 島敷・願万地区)

R2.7豪雨による洪水の浸水状況
(江の川 21.0k付近)

H30.7豪雨による洪水での
浸水状況(江の川 右岸
149k付近)

H30.7豪雨による内水状況
(馬洗川 右岸4k付近)

- 凡例
- 浸水範囲(S47.7洪水実績)
 - 堤防整備箇所 ※
 - 宅地嵩上げ等箇所 ※
 - 河道掘削箇所 ※
 - 堤防補強箇所 ※
 - ※【現河川整備計画記載箇所】
 - 大臣管理区間
 - 流域界

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。